

おいしく 楽しく こつこつ 続ける

心とカラダのために、
“食べる”コツ

食べることは、生きること。食生活習慣研究家・八幡善姿さんが、日々の食を見つめ直し、
“食から始める、心身ともに豊かな毎日”のヒントを伝える連載。

撮影／北川友美、MIKIYA

会場は、名東区の「名古屋東幼種園」。8月は10日(金)・24日(金)の
17～19時に実施する(問い合わせは「エイト」052-703-4150)。



みんなで食べると、
おいしい〜♪



「地域の皆さんにとって、
明るい団らの食卓を」

「金城学院大学」康元ゼミの学生が、告知ポスターを制作。
笑顔あふれる食堂を、下リームキッチンと名付けた。

食生活習慣研究家
八幡善姿子さん
Yoshiko Yohara

2007年に飲食店経営を行う「SORA GROUP」を設立。和食店からイオン、カフェまで人気店を手掛けて、2018年3月に、代表取締役社長を退任。「エイト」取締役として保育事業に携わりながら、様々な食のプロジェクトを進める。



お腹も元気も
いっぱいだね!

子ども食堂に込める思いは？
——私は食で身を立たせてもらったので、食で何かお返しをしたくてもっとも食育に携わっていました。外食業で興味関心の随分前処理されていて食品ロスがもったいなくて、上手な活用法も考えていました。この子ども食堂は、愛知県の認可を得たモデルケースとして、きちんと続けることで、地域に根付いていくよと願っています。

子ども食堂って何ですか？
——子どもたちに、無料や低額で食事を提供する場です。厚生労働省の調査によると、日本の約7人に1人が貧乏状態に陥り、十分な食事を摂れていないと言われてます。また、経済的厳しさだけでなく、一人食事をすると、孤食の増加も問題。なので、ここでは、近所のおじちゃん・おばあちゃんも大歓迎。1つ1つの大きな食卓をみんなで囲み、おいしく楽しい時間を共有してほしいです。

テーマ

01

集まれ!
子ども食堂

ポスターは、広告とマーケティングを専攻する学生が、コンセプトから立案。



メニュー(子ども100円・大人300円)は、発酵食を取り入れて、栄養たっぷり。



思いのこもったプレゼンを受け、若い情報発信力に大学OBの八幡さんも感動。



今回のプロジェクトに関わる、3社の代表者と一緒
に、写真左より、保育事業「エイト」伊藤幸司さん、
飲食事業「SORA GROUP」石田明弘さん、学校法人「名古屋東学院」川越藤原さん・基西愛実さん。